

令和6年度 障がい者相談支援事業 報告

(西地域) 芦屋市社会福祉協議会

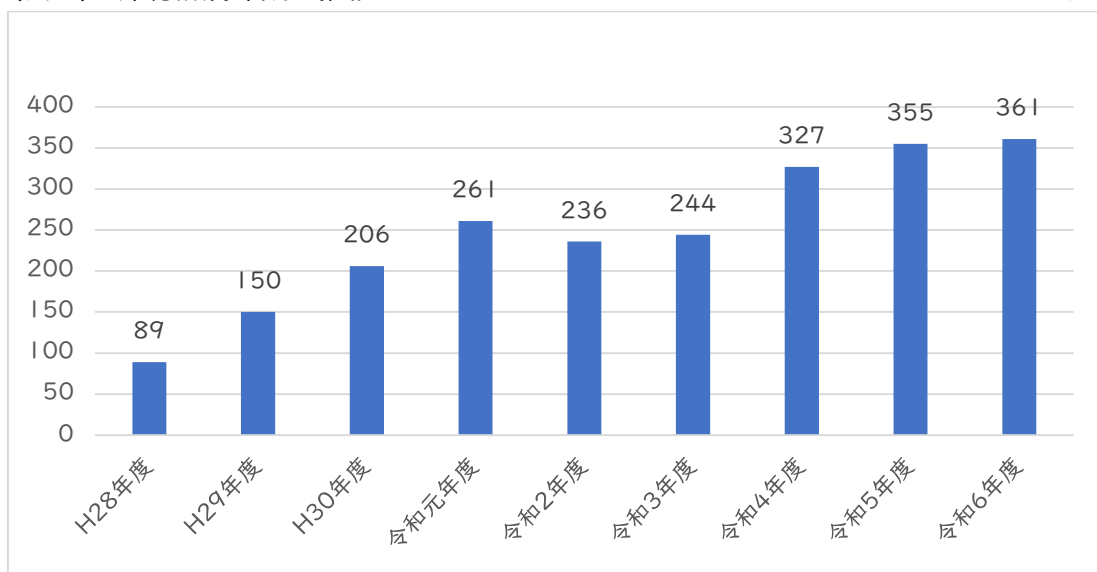
(東地域) 三田谷治療教育院

芦屋メンタルサポートセンター

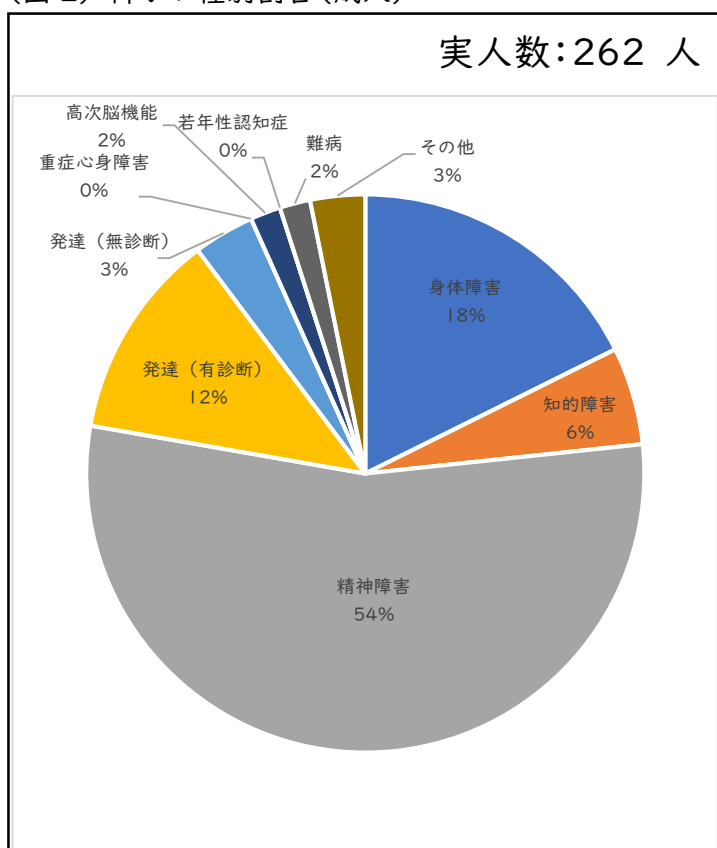
◆令和6年度相談内容について

(図1) 新規相談件数の推移

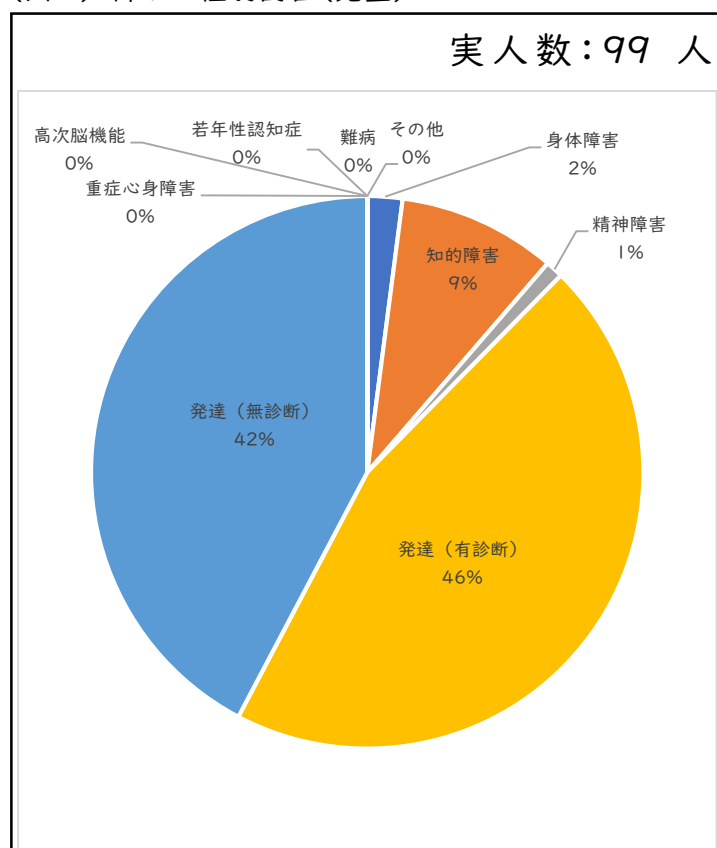
(人)



(図2) 障がい種別割合(成人)



(図3) 障がい種別割合(児童)



◆令和6年度実施計画の振り返り

① 相談スキルの向上

- 新しい職員が迅速に障がい者相談支援事業（一般相談）に対応できるよう、ツールを作成した。
- 新しいケースを共有し、検討の中で見立てた対応策を積み重ね、他のケースに適用できるようにした。
- 専門性が求められる相談に対応しうる知識、援助技術を習得するため研修に参加した。
 - ・対人援助基礎講座研修 ・高次脳機能障害研修 ・酒害セミナー
 - ・兵庫県精神障害者地域移行・地域定着支援研修
 - ・重層的支援研修 ・自殺予防対策研修 等

② 当事者・家族・関係機関への周知

- 障がい全般に関する相談窓口を広く周知していくためにパンフレットを作成した。



③ 地域課題の抽出

- 対応した相談に関して、その経路や内容などを詳細に分析し、地域課題を抽出した。

◆令和7年度 実施計画

① 相談スキルの向上

- 新しい職員が障がい者相談支援事業（一般相談）に対応できるよう、マニュアルの作成を行う。
- 新しいケースを共有し、検討の中で見立てた対応策を積み重ね、関係機関にも確認を行いながら、他のケースに適用できる能力を育成する。
- 専門性が求められる相談に対応しうる知識、援助技術を習得するため、研修に参加する。

② 当事者・家族・関係機関への周知

- 障がい全般に関する相談窓口を広く周知していくためのパンフレットが完成したため、広報活動を行う。
- まるっと説明会等で、障がい者相談支援事業（一般相談）の役割について周知を行う。

③ 地域課題の抽出

- 対応した相談に関してその経路や内容などを詳細に分析し、引き続き地域課題を集めて抽出してゆく。
- 集めて抽出した地域課題を、自立支援協議会実務者会の座談会等にあげてゆく。